

| | | | | | | | |
|---|---|-----|-----|--------------|-----|----------------|--|
| 〔科目名〕 経営演習Ⅱ | | | | 〔単位数〕 4単位 | | 〔科目区分〕 演習科目 | |
| 〔担当者〕 長谷川 美千留 | | | | | | 〔授業の方法〕 演習 | |
| 〔演習テーマ〕 企業財務を学ぶ | | | | | | | |
| 〔演習内容〕 経営演習Ⅱでは、経営演習Ⅰでの学びを基礎として、財務に関する発展的な知識を習得することを目的とする。ゼミ生による報告と議論、輪読を中心とし、春semesterは企業価値経営、秋semesterは現代の企業会計をめぐる課題を中心に学ぶ。 | | | | | | | |
| 〔科目の到達目標〕 企業価値向上を目的とする現代の企業財務を理解し、現代企業会計をとりまく課題や議論について、各自が見解を論じることができる。 | | | | | | | |
| 〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕 | | | | | | | |
| 学部 | | | | 学科 | | | |
| DP1 | DP2 | DP3 | DP4 | DP1 | DP2 | DP3 | |
| ○ | | | | ○ | | ○ | |
| 〔前提条件〕 財務分析Ⅰ・財務分析Ⅱ、財務管理は履修済みであり、財務戦略については本演習と同時履修していることが望ましい。 | | | | | | | |
| 〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 報告と授業内レポート、演習への取り組み姿勢を総合的に評価する。 | | | | | | | |
| 〔教科書等〕 伊藤邦雄(2023)『企業価値経営 第2版』日本経済新聞出版 小栗崇資・陣内良明編著(2022)『会計のオルタナティブー資本主義の転換に向けて』中央経済社 参考図書：鳥居陽介(2017)『株式所有構造の変遷と経営財務』中央経済社 | | | | | | | |
| 〔実務経歴〕 なし | | | | | | | |
| 授業スケジュール | | | | | | | |
| 時期 | テーマと内容 | | | | | | |
| 4月から 5月 | 伊藤邦雄(2023)『企業価値経営 第2版』日本経済新聞出版 の輪読と議論/ 企業価値経営(報告)、資本コスト(報告)、EVA(報告)、ROIC 経営(報告) | | | | | | |
| 6月から 7月 | 伊藤邦雄(2023)『企業価値経営 第2版』日本経済新聞出版 の輪読と議論/ 無形資産(報告)、非財務・ESG 情報による企業評価(報告)、インパクト(報告)、統合報告書(報告) グループ・ワークと授業内レポート | | | | | | |
| 9月から 10月 | 小栗崇資・陣内良明(2022)『会計のオルタナティブー資本主義の転換に向けて』中央経済社 の輪 読と議論/ 新たな計算と報告の可能性(報告)、付加価値会計の再構築とパーパス会計(報告) 非財務情報の会計と経済指標としての付加価値(報告)、無形資産概念の拡張による会計のオルタ ナティブ(報告) | | | | | | |

| | |
|--------------|---|
| 11月から 12月 | 小栗崇資・陣内良明(2022)『会計のオルタナティブー資本主義の転換に向けて』中央経済社 の輪 読と議論/会計制度の新たな展開(報告)、ステークホルダー資本主義と会社法会計(報告)、金融商 品取引法におけるディスクロージャーの拡充(報告)、オルタナティブとしての経営分析の可能性(報 告) |
| 1月 | グループ・ワーク、授業内レポート |